MITSUBISHI

三菱アプリケーションソフトウェア
VISEO Signage Manager

セットアップガイド

STEP1： 本ソフトをインストールする
STEP2： ネットワークの各種設定
　　　（コンピューター側／本機側）
STEP3： 本ソフトのアカウントを作成及び認証する
STEP4： 本機の登録とグループ登録をおこなう
STEP5： コンテンツ作成用素材を準備する
STEP6： 素材をライブラリーに登録する
STEP7： コンテンツを作成する
STEP8： スケジュールを設定する
STEP9： コンテンツを配信する

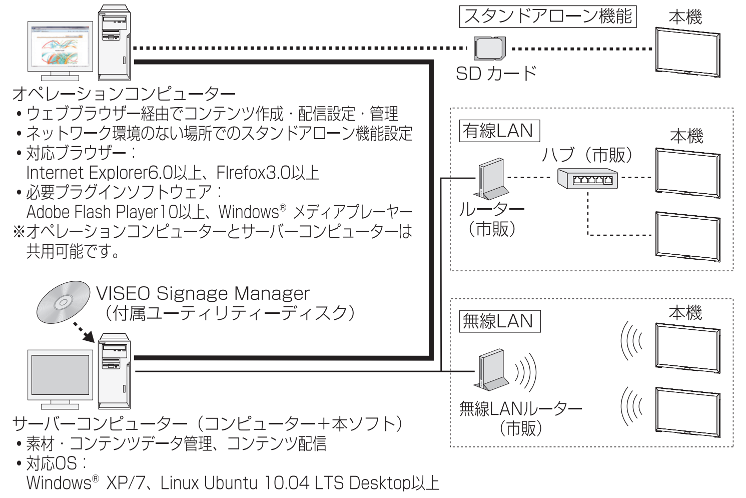
■ このセットアップガイドと液晶ディスプレイLDT231SSD（以降「本機」と表記する）の取扱説明書（ユーティリティーディスクに格納）をよく読み、正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■「セットアップガイド」は、「取扱説明書」・「ユーティリティーディスク（CD）」・「保証書」と共に大切に保管してください。
■ VISEO Signage Managerや本機のソフトウェアは、下記の当社ホームページより最新のものをダウンロードいただき、ご使用ください。

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display
INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

ご使用前に

何ができるの？

VISEO Signage Manager（以降「本ソフト」と表記する）は動画や音楽などの素材を組み合わせて作成されたコンテンツを本機に配信するためのツールです。本ソフトをコンピューターにインストールすることにより、配信スケジュールに合わせてコンテンツをネットワークや、SDカードを使って（スタンドアローン機能）、本機に表示することができます。また本機を複数台設置した場合も、個々に配信をおこなったり、動作状態を常時把握することができます。



お知らせ
実線部分はインターネット接続が可能です。インターネット接続には、プロバイダー契約が必要です。サーバーコンピューターにはグローバルIP アドレスが必要です。セキュリティーの確保が必要な場合は、VPN 対応ルーターを使用することをおすすめします。

STEP1：本ソフトをインストールする（ユーティリティーディスク使用）

本機とサーバーコンピューター、またはオペレーションコンピューターとネットワーク接続する場合は、あらかじめ、本機の取扱説明書 → P27「LANを接続する」を確認いただき、ルーター（市販）あるいはハブ（市販）とLAN ケーブル（市販）との接続を完了させておいてください。

■ Windows® 7/Windows® XP 共通

1 ユーティリティーディスク(本機に付属)をサーバーコンピューターにセットする

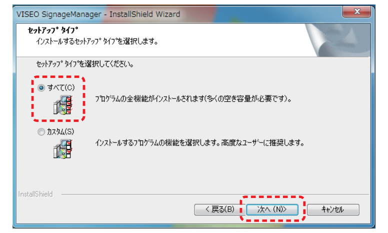
2 VISEO_Signage_Manager_Windows フォルダ「¥¥Windows¥VISEO_Signage_Manager_Windows」内の「setup.exe」ファイルをダブルクリックし、本ソフトのインストーラーを起動する

3 任意の言語を選択し、「OK」をクリックする

4 本ソフトの使用許諾事項が記載されていますので、必ず熟読いただき使用許諾の全事項について同意いただける場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

5 「次へ」をクリックし、セットアップタイプ画面に進む

6 「すべて」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする



7 「インストール」をクリックする
引き続きMySQLのインストールに移ります。

【データベースアプリケーションMySQL のインストール】

8 「Next」をクリックする

9 「Next」をクリックし、MySQL のインストールを完了する
引き続き Apache のインストールに移ります。

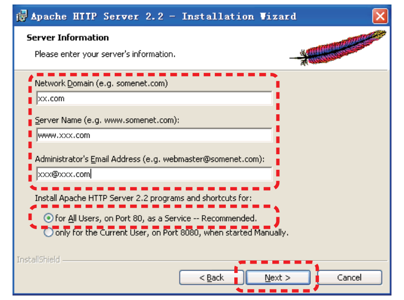
【ウェブサーバーアプリケーション Apache のインストール】

10 「Next」をクリックする

11 Apache に関する使用許諾の説明が表示されるたら、記載内容を確認し、「I accept the terms license agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリックする

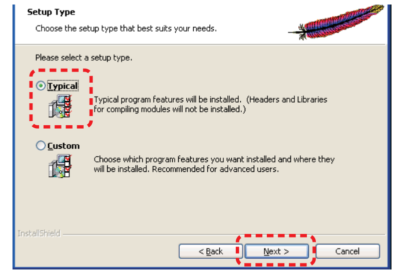
12 「Next」をクリックする

13 サーバー情報を入力し、「Next」をクリックする



• ここでは
Network Domain ……………………somenet.com
Server Name……………………………www.somenet.com
Administrator's Email Address ……webmaster@somenet.com
と入力してください。
• 「for All Users, on Port 80, as a Service」にチェックが入っていることを確認し、「Next」をクリックしてください。

14 セットアップ方法を選択し、「Next」をクリックする
（ここでは標準的な用途の場合を想定して、「Typical」を設定します。）



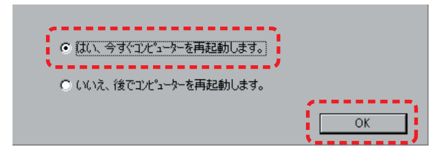
15 「Next」をクリックする

16 「Install」をクリックする

17 Apache のインストールが完了したら、「Finish」をクリックする

【コンピューターの再起動】

18 「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



19 「完了」をクリックし、コンピューターを再起動する
コンピューターが再起動されると本ソフトのインストールは完了です。

Adobe® Flash® Player のインストール方法

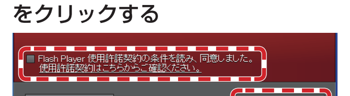
■ Windows® 7/Windows® XP 共通

1 ユーティリティーディスク(本機に付属)をサーバーコンピューターにセットする

2 Windows フォルダ「¥¥Windows¥install_flash_player」内の「install_flash_player_11_active_x_32bit.exe」、または「install_flash_player_11_active_x_64bit.exe」ファイルをダブルクリックし、インストーラーを起動する【バージョン11 の場合】

お知らせ
● ユーティリティーディスク（付属）には、32 bit 版と64 bit 版の2種類が格納されていますので、サーバーコンピューターのbit 数を確認して、正しい方をインストールしてください。ただし、サーバーコンピューターが64 bit版でも、Internet Explorerのバージョンによって、64 bit版のインストールが拒絶される場合は、32 bit版をインストールしてください。
● インストールするバージョンより新しいバージョンが既にサーバーコンピューターにインストールされている場合は、エラーメッセージが表示されますので「終了」をクリックし、操作を終了します。この場合、3～4の操作は不要です。

3 使用許諾契約を確認いただき、同意いただける場合はチェックを入れ、「インストール」をクリックする



4 「完了」をクリックし、インストールを完了する

ファイアウォールの設定変更

Windows® XP/ 7に標準の機能として搭載されているWindows® ファイアウォール機能について、以下のように設定をおこないます。また、一部ウイルスソフト等に独自でファイアウォール機能を搭載している場合は、そちらの変更も必要となります。

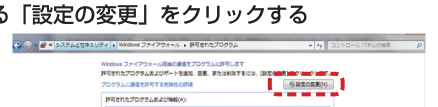
お知らせ
● Windows® XP/7では、32 bit版と64 bit版にて一部設定内容が異なりますので、サーバーコンピューターのOSのバージョンおよびbit数を確認してください。ここでは、32 bit版について説明します。

■ Windows® 7 の場合

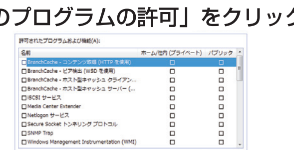
1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「システムセキュリティー」→「Windowsファイアウォール」の順で選択する

2 「Windows® ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックする
下図のようにファイアウォールの詳細について、ホームネットワークまたは社内（プライベート）ネットワークと、パブリックネットワークの２種類について、現在のファイアウォールの状態が表示されます。（緑色表示の四角形は、ファイアウォール機能が動作していることを示しています。）

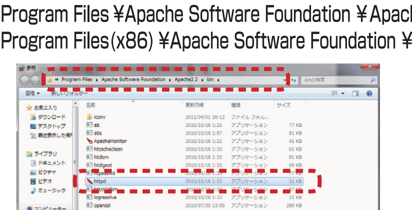
3 右上にある「設定の変更」をクリックする



4 「別のプログラムの許可」をクリックし、「参照」をクリックする

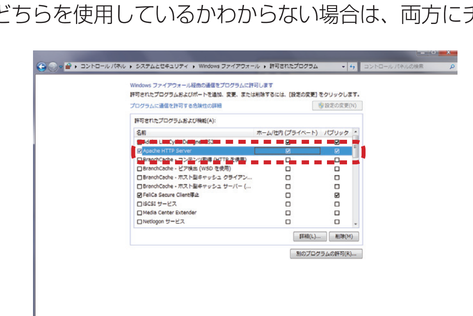


5 アドレスバーに下記のbinフォルダが表示されるまで、画面内のフォルダのアイコンをダブルクリックし、binフォルダ内の「httpd」または「httpd.exe」を選択し、「開く」をクリックする
32bit 版：「C: ¥Program Files ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin」
64bit 版：「C: ¥Program Files(x86) ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin

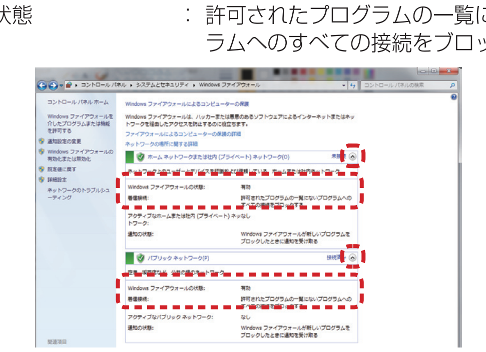


6 4の「プログラムの追加」画面に「Apache HTTP Server」が追加されたことを確認し、「追加」をクリックする

7 「許可されたプログラムおよび機能」画面に「Apache HTTP Server」が表示されることを確認し、使用される環境（ホームネットワーク／社内ネットワーク、パブリックネットワークのいずれか）にチェックを入れ、「OK」をクリックする
もし、どちらを使用しているかわからない場合は、両方にチェックを入れます。



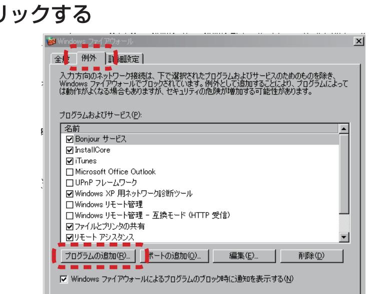
8 「Windows ファイアウォール」画面で「ホームネットワークまたは社内（プライベート）ネットワーク」「パブリックネットワーク」の ⌄ ボタンをクリックし、以下のような設定状況になっていることを確認する
以下のような設定になっていれば、設定は終了です。
・ファイアウォールの状態：「有効」
・着信状態　　　　　　　：許可されたプログラムの一覧にないプログラムへのすべての接続をブロックする



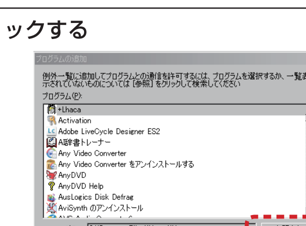
■ Windows® XP の場合

ここではローカルエリア接続（有線 LAN 接続）の場合を説明します。

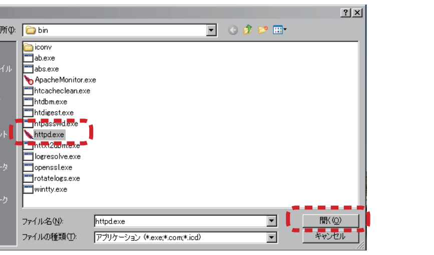
1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「Windows ファイアウォール」→「例外」の順で選択し、「例外」画面が表示されたら、「プログラムの追加」をクリックする



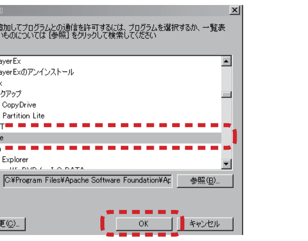
2 「参照」をクリックする



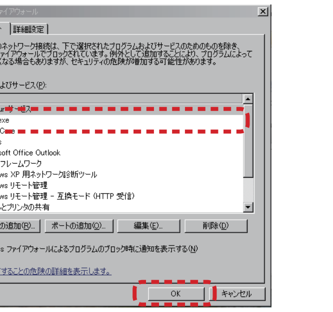
3 アドレスバーに下記のbinフォルダが表示されるまで、画面内のフォルダのアイコンをダブルクリックし、binフォルダ内の「httpd」または「httpd.exe」を選択し、「開く」をクリックする
32bit 版：「C: ¥Program Files ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin」
64bit 版：「C: ¥Program Files(x86) ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin」



4 「プログラムの追加」画面に「httpd」または「httpd.exe」が登録されていることを確認し、「OK」をクリックする



5 再度 Windowsファイアウォールの「例外」を表示して「httpd.exe」がチェックされていることを確認し、「OK」をクリックする



STEP2：ネットワークの設定をおこなう（コンピューター側／本機側）

サーバーコンピューターの固定IPアドレスの確認、または設定をおこなう

サーバーコンピューターのIPアドレスは、必ず固定IP アドレスを設定する必要があります。IPアドレスの確認、または設定方法は以下のとおりです。

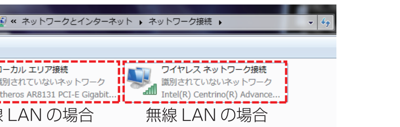
お知らせ
● スタンドアローン機能のみで使用する場合（ネットワークを使用しない場合）はコンピューター側の設定は不要です。

■ Windows® 7 の場合

1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」に移動する

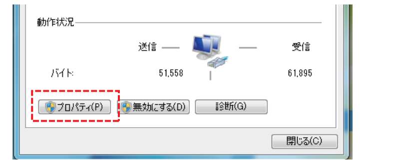
2 「アダプターの設定の変更」をクリックする

例として有線LANと無線LANを両方使われている場合、図のように、アイコンが表示されます。

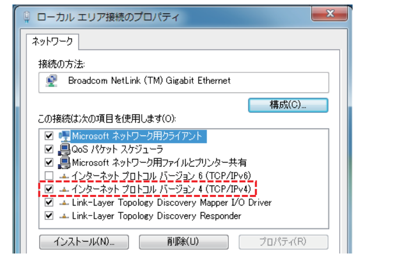


3 有線 LAN にてコンピューターとルーター／ハブを接続している場合は、「ローカルエリア接続」のアイコンをダブルクリックする
無線 LAN にてコンピューターと無線ルーターを接続している場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックする
※ 以後の設定は、有線 LAN/ 無線 LAN 共通です。

4 「ローカル エリア接続の状態」の画面が表示されたら、「プロパティ」をクリックする



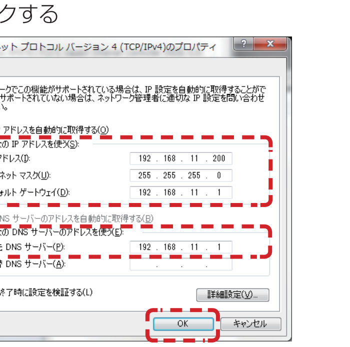
5 「インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4)」をダブルクリックする



6 「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ」画面が表示されたら、サーバーコンピューターのIPアドレスの設定状態を確認する（以降の設定操作に使用しますので、IPアドレスはメモ等に控えられることをおすすめします。）

■ 既に固定IPアドレスが設定されている場合
設定されている固定IPアドレスの値を確認し、以降のIPアドレスの設定の際はこの値を使用する
・「キャンセル」をクリックし、設定を終了してください。

■ 固定IPアドレスが設定されていない場合、または「IPアドレスを自動的に取得する」に設定されている場合
以下の操作により固定IPアドレスを設定する
① 「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れる
② 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を設定する
③ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」にチェックを入れる
④ 「優先DNSサーバー」の値を設定する
⑤ 「OK」をクリックする



例）

IP アドレス	192.168.11.200	サーバーコンピューターのIPアドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	固定値
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1	使用されるルーターのIPアドレス（固定）
優先 DNS サーバー	192.168.11.1	

● 本機とサーバーコンピューターをルーターにてLAN 接続している場合

「IPアドレス」
使用されるルーターのIPアドレス（固定）が「192.168.11.1」、使用されるルーターのDHCP機能で割り当てられるIPアドレスが「192.168.11.2 ～ 192.168.11.65」の場合、これらの値以外の「192.168.11.66 ～ 192.168.11.254」(「192.168.11.xxx」)を設定します。これらの値の中からであれば任意で選んでいただいて結構です。
ここでは、「192.168.11.200」を使用します。

お知らせ
DHCP機能とは、インターネットなどのネットワークに接続する機器にIPアドレスを自動的に割り当てる機能です。

「サブネットマスク」
企業等で個別に設定している等の特別な場合を除き、「255.255.255.0」を使用してください。

「デフォルトゲートウェイ」、「優先DNSサーバー」
使用されるルーターのIPアドレス（固定）を使用してください。
使用されるルーターのIPアドレス（固定）は、使用されるルーターによって異なりますので、詳しくは、使用されるルーターの取扱説明書やホームページにて確認してください。
ここでは、「192.168.11.1」を使用します。

● 本機とサーバーコンピューターをハブのみにてLAN 接続している場合ハブにはルーターのようなIPアドレス（固定）がありません。よって、特に問題がない場合は、左記の 例）の記載と同じ「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先DNSサーバー」の値を使用してください。

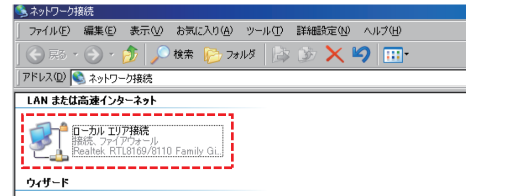
【必要に応じて】
サーバーコンピューターとルーターとの接続環境を、無線→有線、または有線→無線に変更する場合は、2にて新しい接続方法（有線／無線）を選択したのち、以後 3～6の設定をおこなってください。

お知らせ
● サーバーコンピューターとルーターを無線LANと有線LANで同時に接続する場合、同じIPアドレスを設定することができません。

■ Windows® XP の場合

ここではローカルエリア接続（有線 LAN 接続）の場合を説明します。

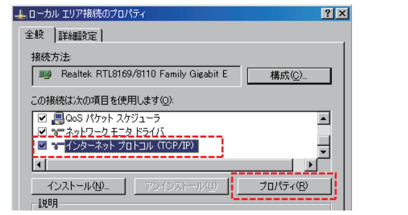
1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「設定」→「ネットワーク接続」の順で選択する



2 「ローカル エリア接続」アイコンをダブルクリックし、図のような画面が表示されたら、「プロパティ」をクリックする

お知らせ
無線 LAN の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックしてください。

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP）を選択し、「プロパティ」をクリックする



4 「インターネットプロトコル（TCP/IPv4）のプロパティ」画面が表示されたら、サーバーコンピューターのIPアドレスの設定状態を確認する（以降の設定操作に使用しますので、IPアドレスはメモ等に控えられることをおすすめします。）

■ 既に固定IPアドレスが設定されている場合
設定されている固定IPアドレスの値を確認し、以降のIPアドレスの設定の際はこの値を使用する
・「キャンセル」をクリックし、設定を終了してください。

■ 固定IPアドレスが設定されていない場合、または「IPアドレスを自動的に取得する」に設定されている場合
以下の操作により固定IPアドレスを設定する
① 「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れる
② 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を設定する
③ 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」にチェックを入れる
④ 「優先DNSサーバー」の値を設定する
⑤ 「OK」をクリックする
※ それぞれの設定値については、Windows® 7 の場合の6を参照してください。

本機の初期ウィザード設定をおこなう

本機への固定IPアドレス設定を含むネットワークの初期設定を本機の初期設定ウィザード画面でおこないます。（本機の取扱説明書 → P30「[準備8] 初期ウィザード設定をおこなう」を参照）

お知らせ

- 初期ウィザード画面にて入力するサーバーコンピューターのIP アドレスは、6 で確認、または設定したサーバーコンピューターのIPアドレスです。
- サーバーコンピューターと本機を初めてネットワーク接続する場合、またはネットワーク接続を変更する場合は、初めて本機の電源を入れたとき以外は、「システムリセット」を実行することをおすすめします。

STEP3：本ソフトのアカウントを作成及び認証する

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **アドレスバーに、「http://（サーバーコンピューターの IP アドレス）を入力し、Enterキーを押す**

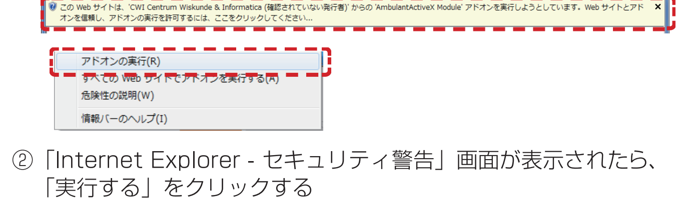
例）サーバーコンピューターの IP アドレスが 192.168.11.200の場合は、「http:// 192.168.11.200」と入力し、Enterキーを押すと、本ソフト操作画面のホーム画面が表示されます。

お知らせ

- スタンドアローン機能のみを使用する場合は、画面上部にあるアドレスバーに「http://localhost/」を入力してください。（Windows® 7/XPの場合のみ）

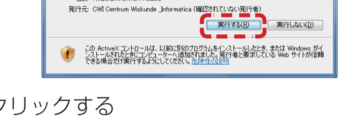
本ソフトインストール後、最初にウェブブラウザーを起動すると、以下のようにアドオンソフトのインストールを求められます。

① ここでは、本ソフト内のコンテンツプレビュー機能を動作させるために、アドオンソフトを必要としますので、画面上部のメッセージ部分をクリックし、別な画面が表示されたら、「アドオンの実行」をクリックする



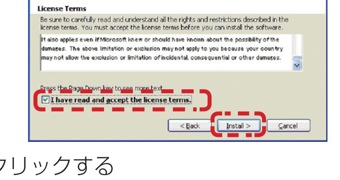
②「Internet Explorer - セキュリティ警告」画面が表示されたら、「実行する」をクリックする

- 既にMicrosoft® Visual C++2008 ランタイムがインストールされている場合は、以降の操作表示はありません。



③「Next」をクリックする

④ 表示内容を確認し、「I have read and accept the license terms.」にチェックを入れ、「Install」をクリックする



⑤「Finish」をクリックする

お知らせ

- 前述の②〜⑤の設定画面は、本ソフトが表示されるウェブブラウザーの背面に隠れて表示されている場合があります。その場合は、一旦本ソフトのウェブブラウザー画面を移動させてから、②〜⑤ の操作をおこなってください。

【本ソフトへのアカウント名の登録】

3 **① ホーム画面の右上の「サインアップ」をクリックする**

② ユーザー ID（メールアドレス）、パスワード（任意の6〜 12 文字までの英数字）、姓名を入力する

メールアドレスをお持ちでない方は、以下のように任意のユーザーID（メールアドレス）を入力してください。

@.co.jp　または　***@***.com

注）*** は半角英数字を入力してください。

例：xxx@xxx.com

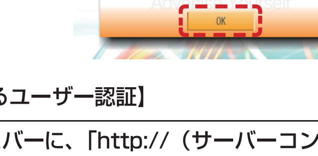
③ アカウント作成画面の「サインアップ」をクリックする

お知らせ

- ユーザーID、パスワードなどの入力必須項目の入力内容に誤りがあると、アカウント名の登録ができません。入力内容の枠が黒色→赤色になっている入力項目について入力内容の赤枠内にカーソルを移動すると、アドバイスが表示されますので、その指示にしたがって入力内容を修正してください。

4 **「そのアカウントは認証が終了していません。管理者に問い合わせてください」と表示されたら、「OK」をクリックする**

- この時点では、まだユーザー登録が終了していません。次の5で、ユーザーアカウントの認証をおこなってください。



【管理者によるユーザー認証】

5 **アドレスバーに、「http://（サーバーコンピューターのIPアドレス）/superser.html」を入力してEnterキーを押し、管理者操作画面のログイン画面を表示する**

お知らせ

- スタンドアローン機能のみを使用する場合は、画面上部にあるアドレスバーに「http://localhost/superuser.html」を入力してください。（Windows® 7/XPの場合のみ）

6 **① 言語選択（日本語／ English ／簡体中文）を選択する**

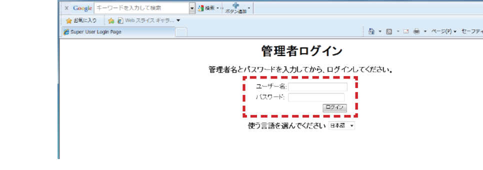
② 以下のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

ユーザー名：admin

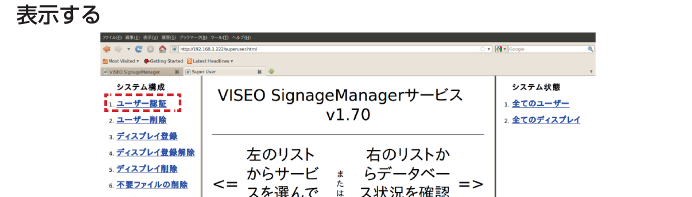
パスワード：password

お知らせ

- 上記のユーザー名、パスワードは工場出荷時の設定値です。管理者操作画面のトップ画面の「10. 管理者パスワードの変更」にてパスワードを変更して使用されることをおすすめします。



7 **「1. ユーザー認証」をクリックし、現在登録されているユーザーIDを表示する**



8 **認証したいユーザーIDにチェックを入れ、「完了」をクリックする（ここでは「xxx@xxx.com」というユーザーID を認証する場合）**

- 下のようなメッセージが表示されると、ユーザー認証は終了です。

9 **① 画面左下の「戻る」をクリックし、管理者操作画面のトップ画面に戻る**

② 画面中央下の「ログアウト」をクリックし、管理者操作画面のログイン画面に戻る

【本ソフトへのログイン】

10 **ブラウザー画面上部にあるアドレスバーに、「http://（サーバーコンピューターのIP アドレス）」を入力し、本ソフトへアクセスして、本ソフト操作画面のホーム画面右上の「ユーザーID」と「パスワード」に3で設定したそれぞれの情報を入力し、「ログイン」をクリックする**

- ログインが完了すると、画面右上に姓名が表示されます。

STEP4：本機の登録とグループ登録をおこなう

本ソフトにてコンテンツを表示させたい本機を登録するときは、本ソフトにある「マイプロファイル」を使用します。

ここでは、最低限必要となる本機の「ディスプレイの登録」と。「グループ登録」の方法について、本機を 1 台登録する場合を説明します。

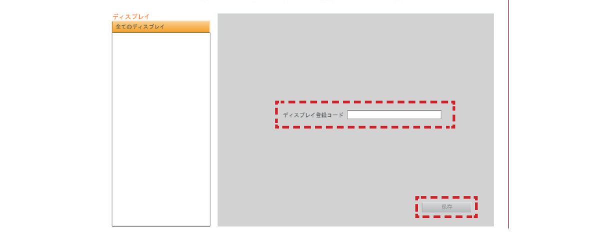
1. 本機の登録

ここでは、ディスプレイ登録コードを使用する方法について説明します。

1 **①「マイプロファイル」→「ディスプレイ登録」の順で選択する**

②「ディスプレイ登録コード」に、登録したい本機の登録コードを入力する

③「保存」をクリックする



登録が正しく完了すると、「グループ未登録」に「New Display」アイコンが追加されます。

お知らせ

- ディスプレイ登録コードは、リモコンまたは USB キーボード（市販）にて本機 OSD【プレーヤー】の主項目メニュー「情報」を選択すると、画面最下段に表示されています。詳細は本機の取扱説明書 → P37「OSD 機能一覧【プレーヤー】」の登録コードの欄を参照してください。
- 「ディスプレイは存在しません」というメッセージが表示された場合は、以下の操作を確認してください。
  - ディスプレイ登録コードを再度確認後、入力してください。
  - また、本機の取扱説明書 「LANを接続する」を再度確認していただき、配線、接続ポートを確認してください。
  - ネットワークの構成やネットワーク関連の設定値を変更した場合は、このようなメッセージが出る場合があります。その際は、本機【プレーヤー】OSDの主項目メニュー「システム設定」内の「システムリセット」を実行してください。詳細は本機の取扱説明書 【プレーヤー】OSD機能一覧の「システムリセット」の欄を参照してください。

2. グループ登録

本ソフトでは、本機の管理を任意のグループ名のアイコンを追加し、本機ごとに所属させるグループを登録することにより、グループ単位でのコンテンツ配信が可能となります。

お知らせ

- 本機1 台のみで使用する場合でも、必ずグループに登録してください。本ソフトはグループ単位でのコンテンツ配信をおこないますので、グループに登録されていない本機にコンテンツ配信することはできません。

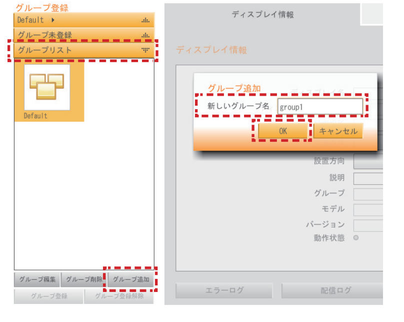
1 例）「新しいグループ名」として「group1」を追加する場合

①「マイプロファイル」→「ディスプレイ管理」の順で選択する

②「グループ登録」→「グループリスト」の順で選択する

③「グループ追加」をクリックする

④「グループ追加」画面が表示されたら、「新しいグループ名」に「group1」を入力し、「OK」をクリックする



2 **任意のグループ名のアイコンが追加されていることを確認する**

- グループの削除、グループ名の編集（グループ名の変更）をするときは、対象となるグループ名のアイコンをクリックし、「グループ削除」または「グループ編集」をクリックします。

3 **本機を任意のグループに登録する**

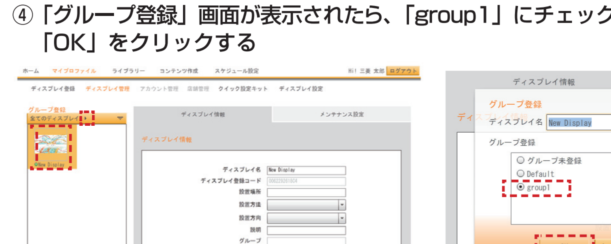
例）「 New Display」を「group1」に登録する場合

①「グループ名表示」の横の ▸ マークをクリックし、「全てのディスプレイ」を選択する

②「New Display」アイコンを選択する

③「 グループ登録」をクリックする

④「グループ登録」画面が表示されたら、「group1」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



4 **任意のグループに登録された本機を確認する**

例）「 New Display」が「group1」に登録されていることを確認する場合

①「グループ名表示」の横の ▸ マークをクリックし、「group1」を選択する

②「New Display」が登録されたいることを確認する

STEP5：コンテンツ作成用素材を準備する

コンテンツ作成用素材については、以下のフォーマットに対応したファイルを準備してください。

なお、準備したコンテンツは、あらかじめオペレーションコンピューターまたはサーバーコンピューター上にフォルダ等を作成して保存してください。

素材名	拡張子	最大スペック			
静止画	jpg jpeg png ※1 bmp	解像度：1280×720			
動画	wmv ※2 mpg ※3 mpeg ※3	解像度：1280×720、フレームレート：30fps、ビットレート：10Mbps			
音楽または、音声	mp3 wma ※4 wav		ビット深度	サンプリング周波数	ビットレート
		mp3	16bit	48kHz	320kbps
		wma	16bit	48kHz	192kbps
		wav	16bit	44.1kHz	192kbps

※1 8ビットカラー未満の場合は画像が崩れる場合があります。また、透過処理は無効になります。

※2 Windows Media Video 9（FourCC：WMV3）フォーマットに対応しています。

※3 MPEG-2 PS（プログラムストリーム）フォーマットに対応しています。

※4 Windows Media Audio 9 Voiceフォーマットには対応していません。

お知らせ

- 背景に使用する画像は、16:9 のアスペクト比（例：横 1280 × 縦 720 ライン）にて作成することをおすすめします（16:9以外では画面の左右または上下に帯が表示されます）。
- 上記のスペックはあくまで目安であり、すべての素材ファイルの形式に対応するものではありません。

STEP6：素材をライブラリーに登録する

コンテンツ作成のもとになる素材（動画／静止画／音楽、または音声ファイル）を管理するライブラリー機能にて、本ソフトに素材を登録します。

ここでは静止画の登録を例に説明します。

1 **①「ライブラリー」→「静止画」をクリックする**

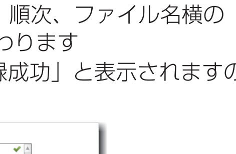
②「素材登録」をクリックし、「メディアアップロード」画面を表示する

2 **「ファイル選択」をクリックして保存先を選択するウインドウを開き、登録したい静止画ファイルが保存されている保存先を指定し、ファイルを選択する**

- 登録したい素材ファイルが複数ある場合は、必要なファイルをすべて選択してください。
- 誤ってファイルを選択した場合は、「ゴミ箱」マークをクリックすると、選択が解除されます。
- フォルダは選択できませんので、ファイルを選択して登録してください。

3 **「素材登録」をクリックする**

- 「素材登録」をクリックすると、順次、ファイル名横の「ゴミ箱」マークが「✓」マークに切り替わります
- 正しく登録された場合は、「登録成功」と表示されますので、「OK」をクリックしてください。



4 **画面左側の静止画フォルダに素材登録したファイルのアイコンが追加されていることを確認し、「閉じる」をクリックする**

STEP7：コンテンツを作成する

ここでは、「STEP6：素材をライブラリーに登録する」で準備された素材を用いて、本ソフトのコンテンツ作成機能でコンテンツの作成をおこないます。

素材の貼り付け方法には次の２種類があります。

動画アイコン／静止画アイコンにより素材を貼り付ける方法

テンプレートを使用して素材を貼り付ける方法

ここでは「動画アイコン／静止画アイコンにより素材を貼り付ける方法」について説明します。

■ 素材の貼り付け（動画アイコン／静止画アイコンにより素材を貼り付ける方法）

【動画の貼り付け】

1 **動画 アイコンをクリックし、右画面上に動画エリアを表示する**

- 貼り付けエリアに表示されているアイコン：　動画エリア

2 **①「素材ライブラリー」から「動画」を選択する**

② 動画エリア に、動画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラッグアンドドロップする

- 動画の画像が表示され、「動画リスト」画面が表示されます。

③ 貼り付けたファイル名を確認して、右上「×」マークをクリックしてウィンドウを閉じる

【静止画の貼り付け】

3 **静止画 アイコンをクリックし、右画面上に静止画エリアを表示させ、貼り付けたい位置にドラッグアンドドロップする**

- 貼り付けエリアに表示されているアイコン：　静止画エリア

4 **①「素材ライブラリー」から「静止画」を選択する**

② 静止画エリア に、静止画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラッグアンドドロップする

- 静止画が表示され、「静止画リスト」画面が表示されます。

③ 貼り付けたファイル名を確認して、静止画リストを閉じる

5 **静止画を追加する場合は、手順 3、4 を繰り返す**

【保存】

6 **① 素材の貼り付けが終わったら、右下の「保存」をクリックする**

②「コンテンツ保存」画面が表示されたら、任意のコンテンツ名を入力し、「テンプレート保存」のチェックマークが外れていることを確認し、「コンテンツ保存」画面の「保存」をクリックする

- 「コンテンツ保存」画面が閉じて、 右画面の左下に保存したコンテンツ名が表示されます。
  「なお、テンプレート保存」にチェックマークを入れて保存すると、作成したコンテンツのテンプレートのみしか保存されません。

【保存したコンテンツ名】

STEP8：スケジュールを設定する

コンテンツを表示するスケジュールを設定します。あらかじめ作成されたコンテンツを、指定した時間に指定した本機に表示させるスケジュールを作成します。

例）既に「group1」に登録されている「New Display」に対して、コンテンツ「test2」を10/24（月）16：00 から表示を開始し、19：00 に表示を終了したい場合

1 **グループタブより「group1」を選択し、「New　Display」が表示されることを確認する**

※スタンドアローン機能では、この操作は不要です。

2 **① プレイリスト／コンテンツより「コンテンツ」を選択する**

② コンテンツ「test2」をスケジュール設定画面の10/24(月)16:00付近にドラッグアンドドロップする

- 16:00付近にスケジュールバーと「時間設定」画面が表示されます。
- 表示例のようなコンテンツの再生時間が短い(15秒)場合は、スケジュールバーが再生時間に相当する長さになるため棒状に表示されます。

3 **「時間設定」画面で「長さを保持します」のチェックを外し、詳細な開始時間と終了時間を設定し、「適用」をクリックする**

週：チェックを入れると、現在画面に表示されている週の毎日同時刻にスケジュールが設定されます。

月：チェックを入れると、現在画面に表示されている月の毎日同時刻にスケジュールが設定されます。

4 **更に別のコンテンツやプレイリストのスケジュールを設定する場合は、手順 2〜3 を繰り返す**

- 設定したスケジュールを削除する場合は、削除したいスケジュールバーを選択し、「削除」をクリックします。

STEP9：コンテンツを配信する

【ネットワーク経由】

本機へのコンテンツ配信設定は、スケジュール設定完了と同時におこなわれます。その後、スケジュール設定した日時に指定した本機にコンテンツが表示されます。

1 **前記の「STEP8：スケジュールを設定する」にてスケジュール設定の作業が完了したら、「配信登録」をクリックする**

- これで、スケジュール設定およびコンテンツ配信は完了です。

【SDカード経由】

スケジュール設定されたコンテンツをSDカードに書き込んで、表示したいディスプレイのSDカードスロットに差し込むと、LAN な どのネットワークがない環境においてもスケジュールにあわせたコンテンツ再生が可能です。

詳しくは本ソフトの取扱説明書の「使用方法5 コンテンツを配信する」を参照してください。

※ VISEOは三菱電機株式会社の登録商標です。

※ Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※ McAfee®およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

※ 本紙に使用されている画像には一部、日本情報流通株式会社の「売れるお店のシーズンナビ52」「売れるお店のシーズンナビ52 ドラッグ」のキャプチャーを使用しています。本コンテンツの著作権は日本情報流通株式会社、株式会社マイザに所属します。

※ その他、本紙に記載された社名および製品名は各社の商標登録です。

三菱電機株式会社

Printed in China　本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）　AW-P0935C